

業績ハイライト

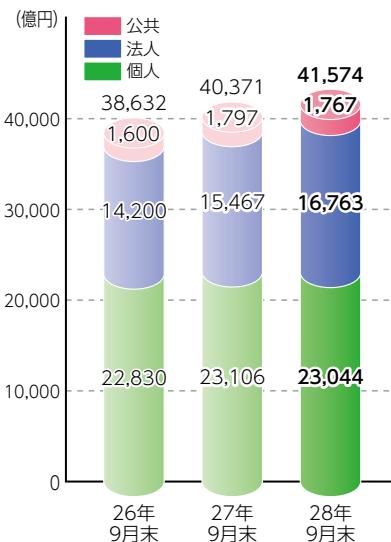
総預金・貸出金等の残高推移

総預金

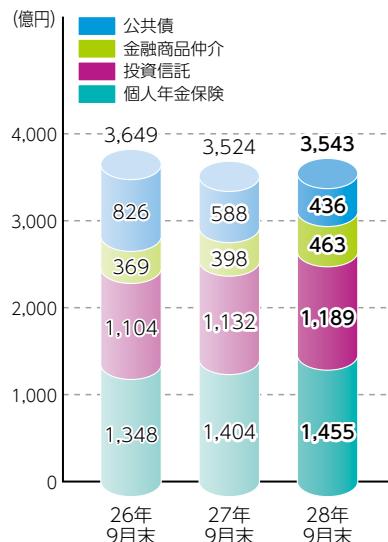
当中間期末の総預金残高は、個人及び公共預金は減少しましたが、法人預金が増加したことにより、前年同期末比1,203億22百万円増加して、4兆1,574億94百万円となりました。

また、預り資産残高は、公共債は減少しましたが、投資信託、個人年金保険、金融商品仲介の増加により、前年同期末比19億65百万円増加し、3,543億83百万円となりました。

総預金 (預金+譲渡性預金)



預り資産

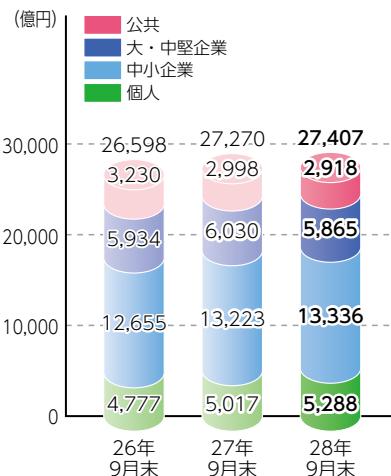


貸出金

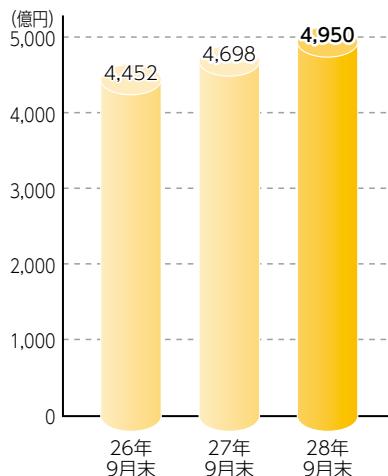
当中間期末の貸出金残高は、大・中堅企業向け及び公共向け貸出金が減少しましたが、中小企業・個人向け貸出金が増加したことにより、前年同期末比137億62百万円増加して2兆7,407億91百万円となりました。

また、住宅ローンを積極的に取り組んでまいりました結果、当中間期末の住宅ローンの残高は、前年同期末比252億31百万円増加し、4,950億45百万円となりました。

貸出金



住宅ローン



業績の推移

実質業務純益は、資金利益の減少などにより、前年同期比16億2百万円減少して83億97百万円となりました。

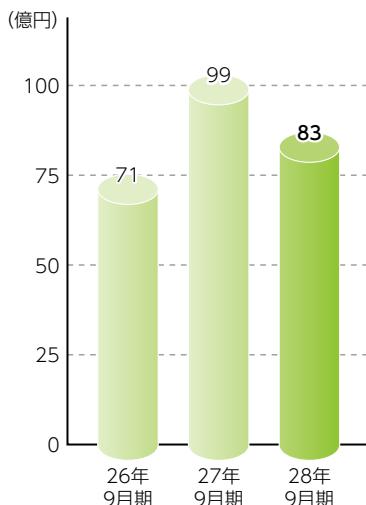
経常利益は、実質業務純益の減少及び有価証券関係損益の減少などにより、前年同期比26億15百万円減少して91億49百万円となりました。

また、中間純利益は、前年同期比31億78百万円減少して48億15百万円となりました。

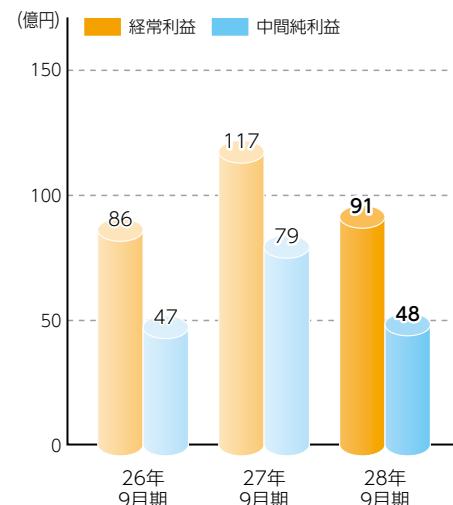
*実質業務純益とは

実質業務純益 = 業務粗利益(資金利益 + 受取手数料 + 債券関係損益など) - 経費

実質業務純益



経常利益・中間純利益



香川県内シェア

(平成28年9月30日現在)

